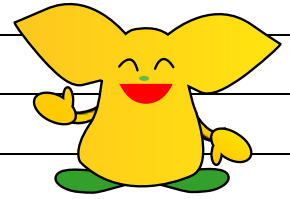


WinBe Kids・今月のフレーズ (こどものあそびもの 「この自転車だれの?」)

1	Whose bike is that? この自転車だれの?
2	It's mine. / No. It's mine. 僕のだよ。 / いいえ、僕のじゃないよ。
3	Is that her bike? / Yes, it is her bike. 彼女の自転車ですか? / うん、彼女の自転車だよ。
4	Do you know whose ball that is? だれのボールか知ってる?
5	Yes, it's Yuta's ball. / No, I don't know. ユウタのボールだよ。 / いや、知らないよ。



## Native Teacher's Room

Hi, everyone. we've all worked very hard through this last month as we've just completed tests even though we had a holiday in Golden week everyone did amazing great retention! Is it summer already? No, but it sure feels like it, in any case look forward to teaching every one this month and a big welcome to all the new students that have recently joined us.) josh

みなさん、こんにちは。ゴールデンウィークの楽しかった思い出が記憶に真新しい中ですが、みんなとても良く頑張ってくれ、先月から続けている「WinBeテスト」が終わりました。もう夏なの?って言う感じの気候ですが、今月もみんなと英語が勉強できるのを毎日楽しみにしています。また、新しい生徒さんには、「ようこそWinBeへ」とお伝えしたい、ジョシュでした。

### Enlightened generation' emerges from prolonged recession

I remember a jingle for an energy drink that I hadn't heard in a long while. It goes: "Can you fight for 24 hours, businessman?"  
The song goes back to 1989, the peak of the asset-inflated economic boom of the late 1980s to early 90s. It was a time when workers, who were required to put in long hours, often turned to energy drinks to ward off drowsiness.  
What reminded me of the buoyant mood is the term "satori sedai" (enlightened generation) that I recently learned. The term was coined on the Internet and spread. The Asahi Shimbun also ran a series featuring satori sedai through May 4 on its education page.  
The term refers to people in their mid-20s and younger who were born in the mid-1980s and thereafter. Satori is Japanese for enlightenment. In Buddhism, attaining enlightenment means ridding oneself of worldly desires and finding the truth. In everyday language, it means something like knowing, understanding and noticing.  
Satori sedai are people who grew up not knowing constant economic growth. Perhaps that is why they tend to lack ambition and desire. They don't want cars or brand-name products. They have little interest in overseas.  
Could it be that the lingering recession forced them to be like this, or is it? Discussing generations can be difficult. There is no doubt the way young p

## Japanese Teacher's Room

GW後はとても暑い日が続いていますが、みなさん、5月病にはなっていませんか?今、Josh先生と夏休みの短期レッスンを計画中です。去年の冬休み・春休みで好評だった、「ダンスde英会話」を夏休みも引き続きやる予定ですが、今年の夏休みは、新しく「プチ留学コンビネーション」を始める予定です。これは、Josh先生と私たち日本人講師が交互に日替わりでレッスンを担当し、ネイティブの発音をご体感いただきながら、翌日本人がフォローするコースです。詳しくは来月ご案内します。楽しみにしてください。栗田 真美

夏を思わせる日々が続いていますね。夏ということで、今年は、8/10(土)にスポーツマジック桑名でBBQパーティーをやりませう。昨年同様スーパーボールすくいや水鉄砲に加え、英語で野菜や食べ物名前を当てるクイズなんかも企画中です。楽しい夏休みの思い出に、是非、BBQパーティーにもご参加ください。昨年同様、「ダンスde英会話」or「プチ留学コンビネーション」にご参加の方は無料でご招待です。金山 やす子

## 今月の読み物

### さとり世代の登場

懐かしいCMソングを思い出した。「24時間戦えますか ビジネスマン」。1989年、バブルの絶頂期だった。徹夜仕事の供に、眠気防止のためのドリンク剤が定番とされた時代だ。

あの浮かれた世相が頭をよぎったのは、「さとり世代」という言葉を知ったからである。ネットの世界で誕生し、広がっている。本紙教育面の「いま子どもたちは」でも、4日までの連載で取り上げた。

80年代半ば以降の生まれで、20代半ばまでの年代をいう。さとりとは悟りであろう。仏教でいえば、迷いを去り真理を会得することとされるが、ふつうには、知る、理解する、気づくといったところか。

右肩上がりの成長を知らずに育った世代である。だからか万事、欲がない。車もブランド品も欲しくない。海外旅行にも恋愛にも興味が薄い。将来、偉くなりたいと思わない。同僚記者の表現を借りれば、「結果をさとり、高望みしない」。

長引く不況が彼らにそう強いただけなのか。時代が生んだ新しい生活哲学なのか。もっとも、作家の高橋源一郎さんはすでに10年前の本紙で指摘している。身近な欲望しか持たない「喪失の世代」が登場した。これは「世界最先端の現象」だ、と。

世代論は難しい。的を外すと「ギョエテとは俺のことかとゲーテ言い」となりかねない。ただ、趨勢(すうせい)として若い世代の考え方は確かに変わりつつあるらしい。バブル時代の狂騒を思えば、真つ当な方向だ。景気回復もいいが、あんな時代に戻りたくはない。

(2013年5月6日・朝日新聞・天声人語)

### 6月の予定表

- 5/25(土) 児童英検申込締切
- 6/06(木)・6/07(金)・6/08(土) すべてのレッスンがお休みです
- 6/08(土) 英検一次試験 <二次:7/7(日)>
- 6/15(土) 児童英検練習会 16:00~16:50
- 6/22(土) 児童英検試験日(別日での受験可)
- 幼児・小学生の皆様へ 是非、児童英検を受けてください。直前の6/15(土)には児童英検練習会(参加費無料)を開催する予定です。詳しくは、ご遠慮なくご相談ください。

WinBe

桑名中央校

〒511-0058  
桑名市千代田町38岡村ビル3F

TEL 0594-27-4070 FAX 0594-27-4051 wb-kuwanac@dct-ie-mie.jp